

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 平成25年度国別研修ケニア「初等理数科指導法改善」

(英文) Country focused training on “Improving Mathematics and Science Lessons in Primary School”

(2) 研修期間

平成25年11月11日～平成25年12月6日

(3) 研修員数 21人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 小野 由美子

2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

(1) 案件目標（アウトカム）

案件目標：

初等理数科教育の研修に携わる教員指導者の授業改善や研修実施に関する指導能力が向上し、帰国後の所属部局において行動計画案が共有される。

指標：

研修前後で実施した同一授業ビデオに関する改善案および研修員が研修中に作成した行動計画案の4段階評価がB（やや優れている）以上。

(2) 単元目標（アウトプット）

単元目標①：

ケニアの理数科授業に係る課題が整理される。

指標：

研修員のインセプションレポートおよびリフレクションにおける発言が4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標②：

理数科の授業を観察分析し改善提案を行う手法を理解する。

指標：

研修員が研修中に作成した改善授業案および模擬授業の4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標③：

現職研修の事例から具体的な行動計画案が作成される。

指標：

研修員が作成した行動計画案の記述を評価し、その4段階評価がB（やや優れている）以上。